

～出雲から陽が昇る～  
「人口減少社会と地方創生」

女性の社会参画の具現化

2014年11月23日(日)

島根県立大学名誉教授

堀内好浩

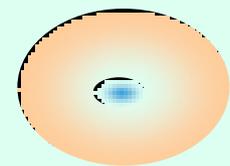
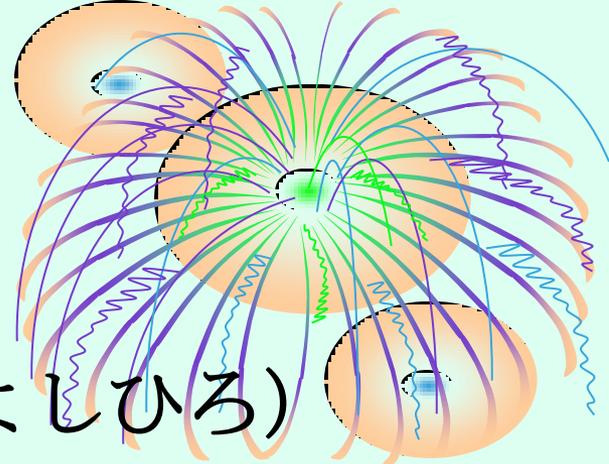
# 自己紹介

【名前】堀内好浩（ほりうち よしひろ）

【生年】昭和15年12月13日（満73歳）

【本籍】山梨県

【学歴】昭和39年3月早稲田大学  
第一理工学部応用物理学科卒業



昭和39年	4月	日本鋼管株式会社 入社
平成 2年	7月	同社 情報化推進部長
平成 9年	12月	(財)国民経済研究協会 情報社会研究所長
平成12年	4月	島根県立大学 総合政策学部 教授
平成15年	4月	同大学 評議員 キャリアセンター長
平成23年	3月	同大学 退官 島根県立大学名誉教授
平成24年	10月	内閣府大臣「海外で活躍する日本人」 顕彰



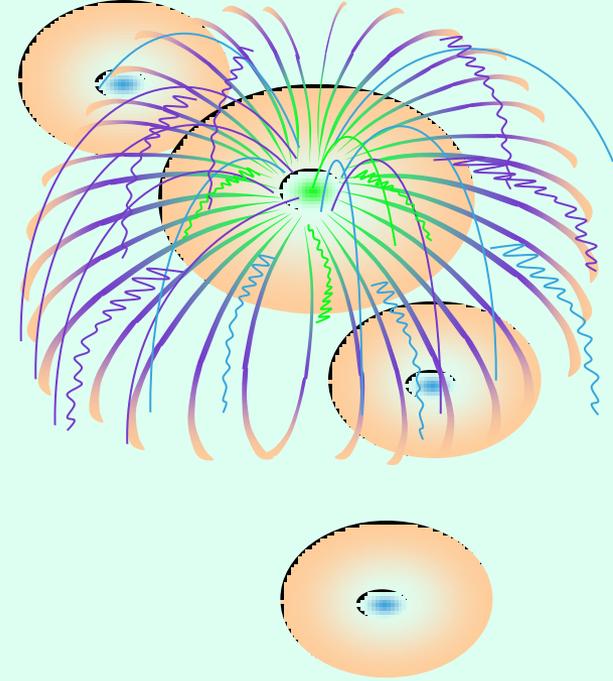


# 日本人は昔から

誰でも使っている外来語は？

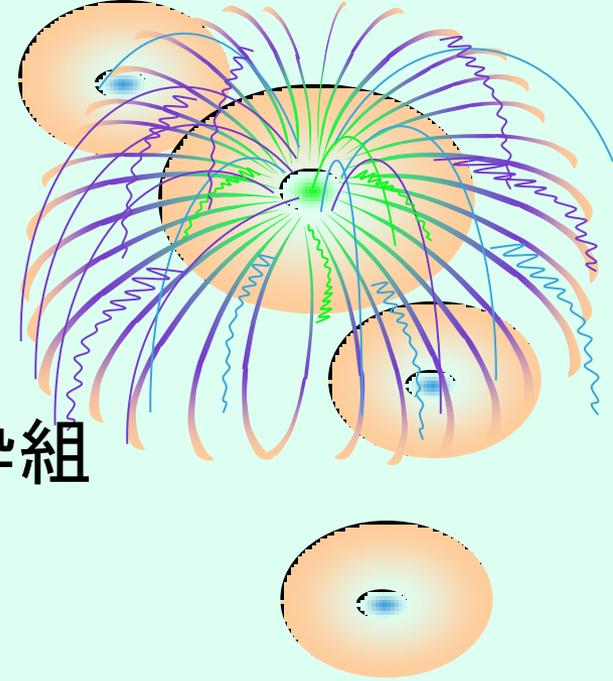
- バカ
- トンチンカン
- マアマア 等

「漢字」を使っている。「総理大臣」「官僚」等  
1500年前からのレガシーがある？

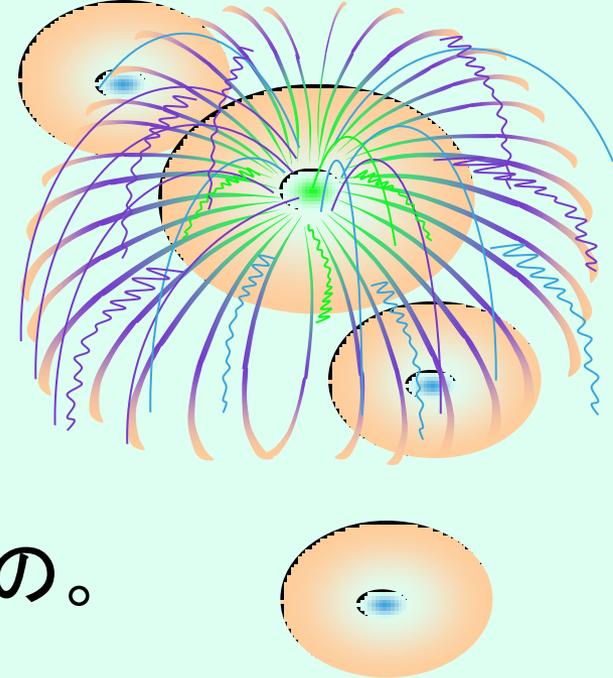


# グローバル化とは

- 人、経済活動、文化などが国家の枠組みを超え、地球規模に広がること
- 生産性向上、異文化交流
- 一方で、投機資本による市場の混乱や局地的な失業者増大など負の側面も



# カタカナ表記は外来語



- カタカナ表記は解った積もりだが  
……その意味が全く解ってないもの。
- 英語のままのもの；  
……意味しているものが全く解らないと自信を持っているもの。

例えば 「EPA」「TPP」「ISO」 等

# 世界はいま

1. 戦争を知らない世代が国際政治をリードしている。

米国；中国；ロシア；英国；インド；日本；韓国、北朝鮮 等

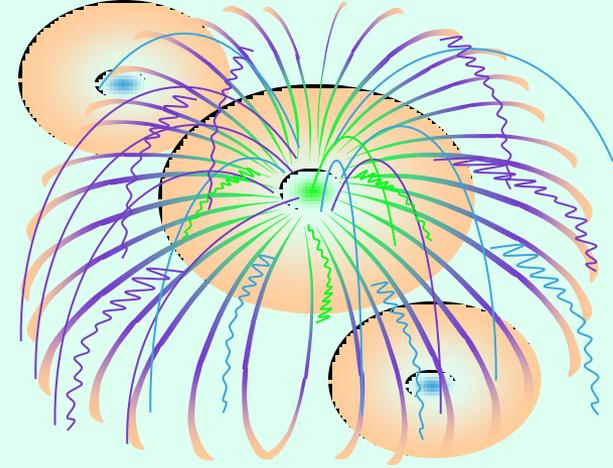
2. 保護主義の台頭⇒国内政治⇒戦争の危険性

3. イスラム国、領土問題⇒戦争の危険性

4. グローバル化の進展／市場経済⇒富の2極化／貧困層



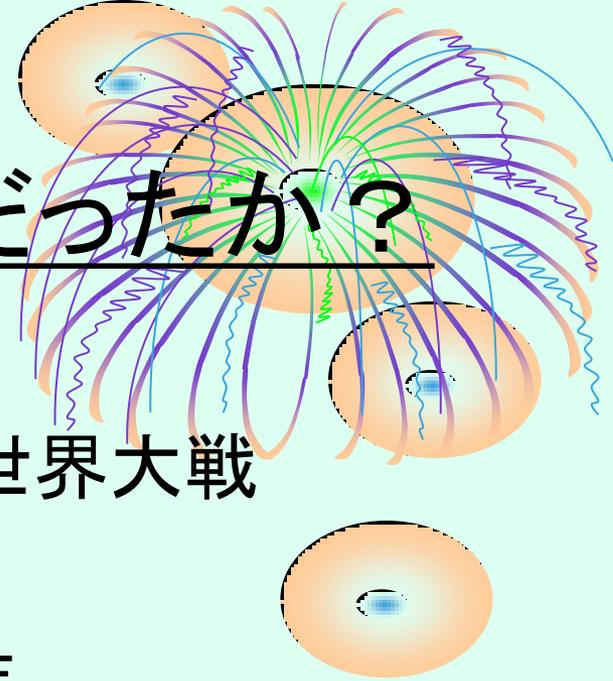
# ミレニアムとは



- 新千年紀
- 21世紀はキリスト生誕から2000年経過し新しい千年を迎える最初の百年
- 21世紀を祈念の世紀とする
- ボトムアップで進展した世界をトップダウンから見直すための最初の百年

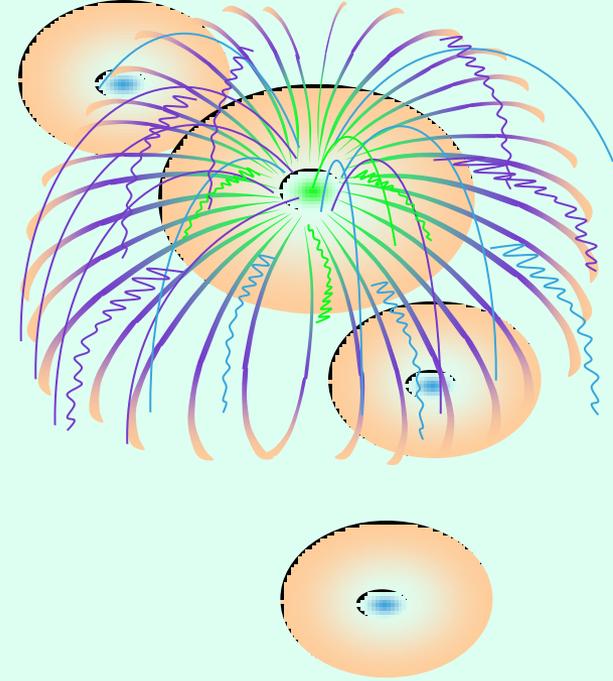
# 20世紀はどんな100年だったか？

- 19世紀は工業化社会・・・第一次世界大戦
- 20世紀は1千年代最後の百年
- 科学文明が急激に進展した100年
- 20世紀前半：第二次世界大戦
- 20世紀後半；宇宙時代と情報化時代
- 21世紀は、どんな時代か？
  - グローバル時代 ○高度情報社会
  - 知価社会

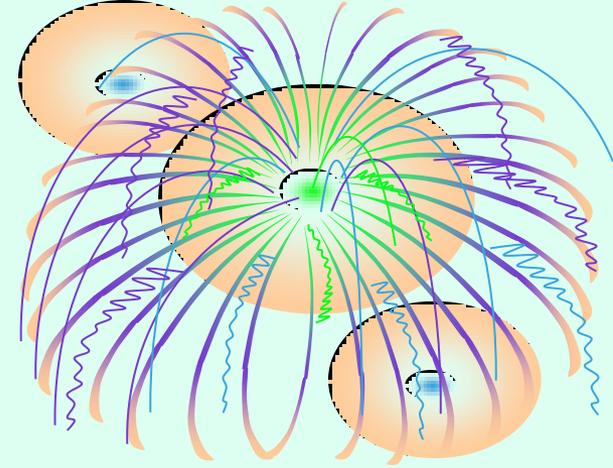


# 20世紀後半は

- 1950年は朝鮮戦争が勃発
- 1955年冷戦時代が始まった
- 1960年初頭のキューバ危機
- 1970年代中国文化大革命
- 1980年の米国の規制緩和
- 1985年のプラザ合意⇒日本のバブル経済移行
- 1990年のベルリンの壁崩壊と東西ドイツの統合、ソ連邦崩壊
- 1995年の中国市場開放経済移行



# 21世紀初頭の世界は



- 2001年米国N.Y9. 11事件
- 2011年の欧州経済危機等21世紀グローバル社会に向けた世界の「大転換期時代」
- 今世紀は新たな「宗教戦争」の時代。キリスト教とイスラム教世界の新たな戦いが始まった。
- そして「EPA」, 「TPP」等「新たな豊かさ」を「全世界の人」が求め合う「経済新世界戦争」が開始。

# 少子高齢化（三）

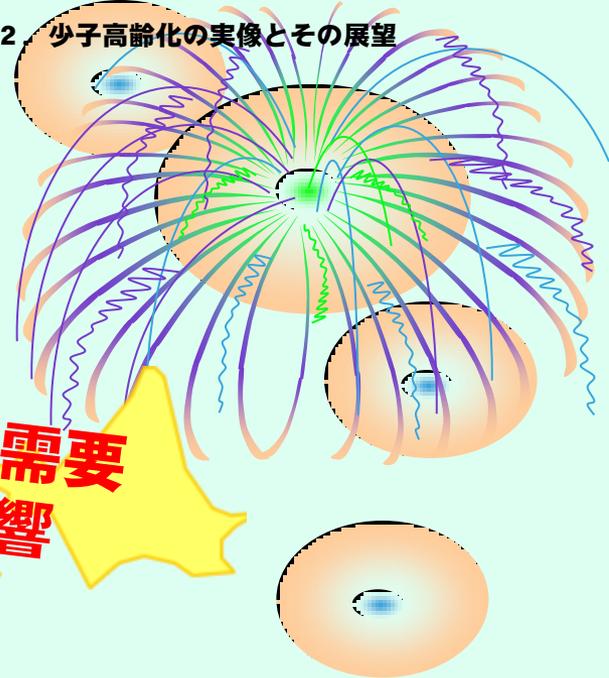
## ◆日本はまったく違う国になった



日本経済の供給力・需要の両面から大きな影響

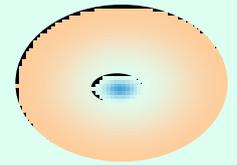
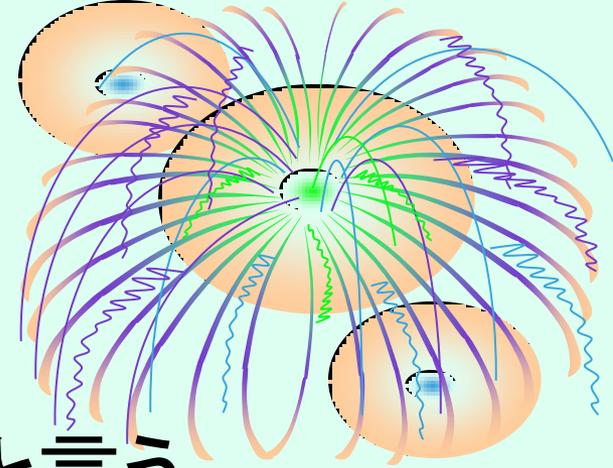


日本型経営（終身雇用、年功序列など）は、その基盤を失う



# いまの日本は？

- 昭和一桁時代と酷似していると言う
- 「一桁時代」とは
  - 世界大恐慌で多くの日本人が海外移住していった。米国移民、満州移住等
  - 満州事変等勃発
  - 「鬼畜米英」「外来語が流行った」



# 「日本はいま」

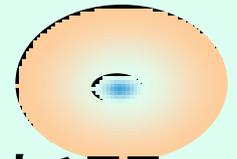
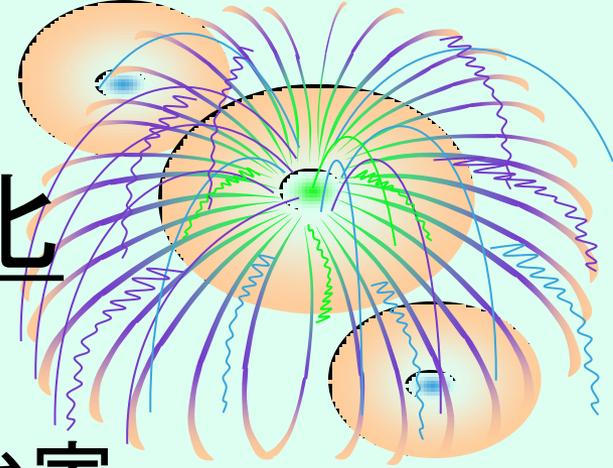
藤原正彦の週刊新潮管見妄語より

- デフレ不況を15年も続け
- 新規学卒が就職すら出来ないという経済
- 自力防衛すらしないため……

万事アメリカの言うがままの政治

- 親殺し子殺しのごとき、かつてはなかった凶悪犯罪や学校のいじめによる自殺頻発

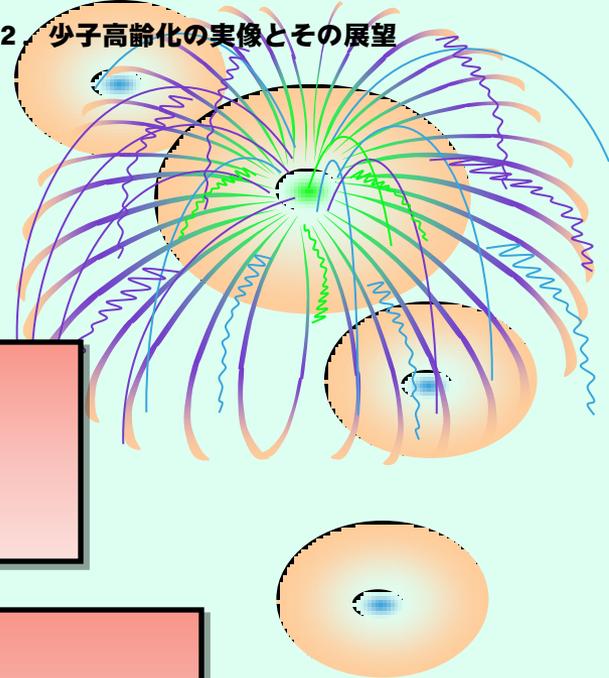
# 日本の広範な体質劣化



- 選挙のことばかりを考える政治家
- 大企業の利益ばかりの財界
- これらを批判するかすり寄るばかり大新聞や御用学者
- 国家や国民より自己保身を優先させるこれらのリーダー達に他愛なくだまされ、後になってほぞをかむ事を繰り返すばかりの国民

# 運命を変えるために (一)

## ◆現在の日本の社会・経済環境



**国際競争力の  
相対的地盤低下**

**借金大国**

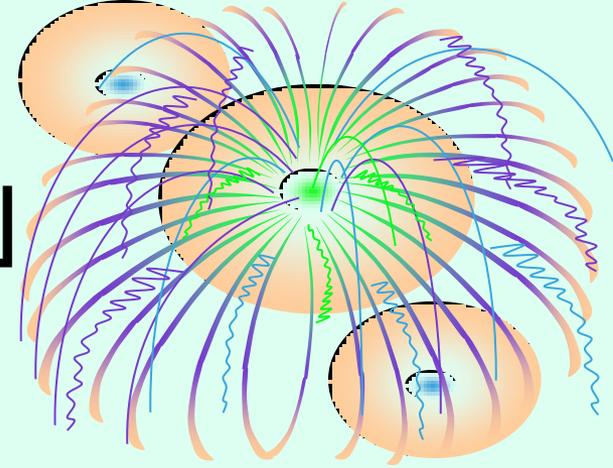
**グローバル・  
ボーダレス時代  
世界大競争時代**

**時代の転換期**

**円安・賃金低下**

**硬度福祉社会  
厚度徴収社会  
高度失業社会**

# 「**硬度福祉社会の進行**」



- **福祉を圧迫**

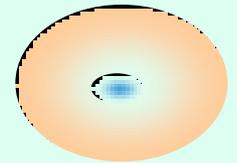
- **入院は3ヶ月で退院を強要する**

- **医療保険に入っていない人は病院に掛  
かれない**

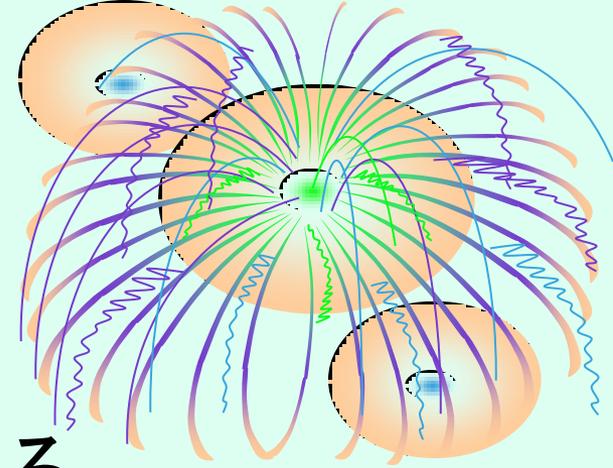
- **社会保険料の高額負担**

- **介護保険料の徴収**

- **高度高齢者保険量のアップ**



# 厚度徴収社会



- 厚かましく誰からでも税金を取る
- 江戸時代は40%の非生産者・・・サムライ
- 年金生活者からも税金を徴収
  
- 明治維新・・・藩財政破綻⇒廃藩置県
- 日本人は出生と同時にサラ金借金  
・・・千万円／人の借金

## ◆高度失業社会

**ジョブレス・マジョリティ  
(職なき多数派)**

▶ 景気循環に起因する失業だけでなく  
**社会構造の変質**を根本原因とする

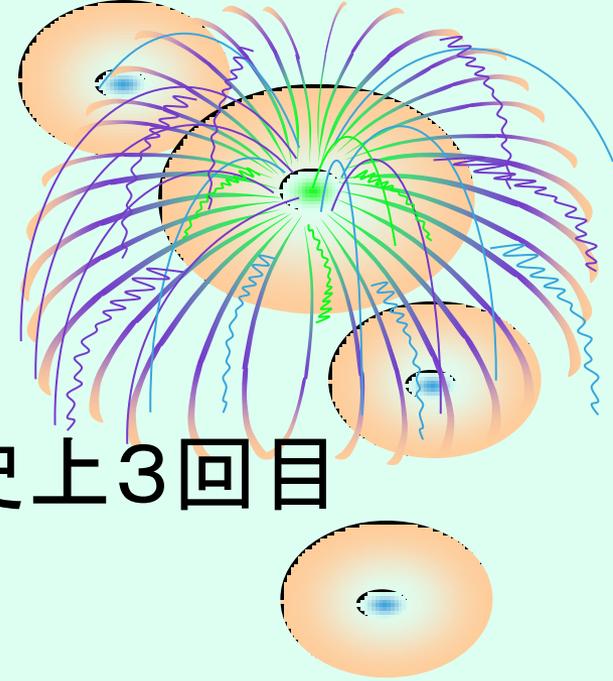
**!** 失業は

**単なる、労働の量的な  
需要と供給のギャップ**

ではなくなった

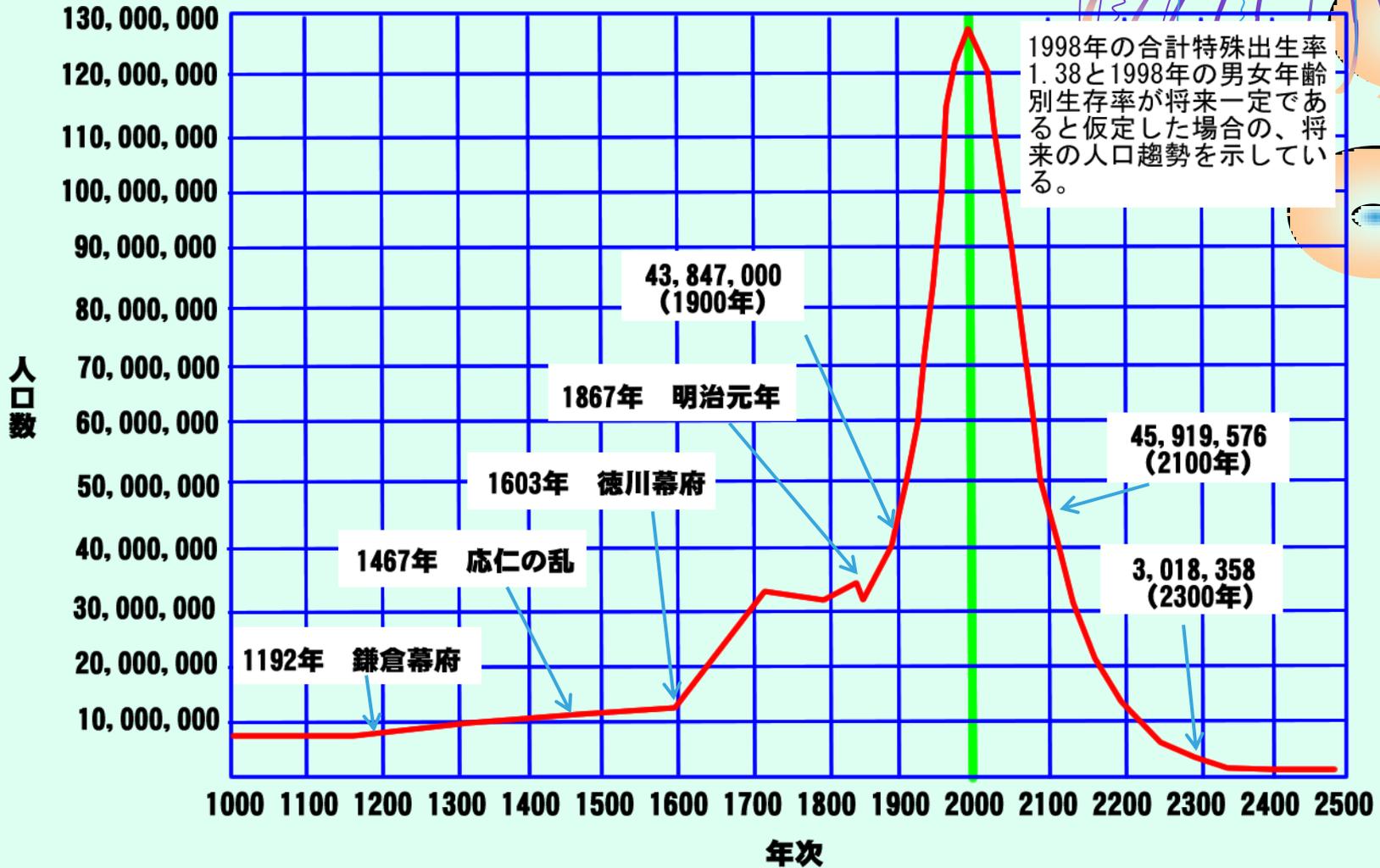


# 人口減少社会の到来



- 日本では人口減少社会は歴史上3回目
- 1回目は縄文時代
- 2回目は江戸時代の後半150年
- 3回目2008年から現在まで

### ◆日本の長期人口趨勢



# 第二次世界大戦からデフレ経済



- 明治維新・・・廃藩置県/藩財政が破綻
- ハワイ移民/米国移民/ペルー移民/ブラジル移民・・・実際は奴隷移民
- 第二次世界大戦・・・財政破綻から戦争へ
- 敗戦から戦後経済復興
- バブル崩壊からデフレ経済/グローバル化
- 2008年人口減少社会

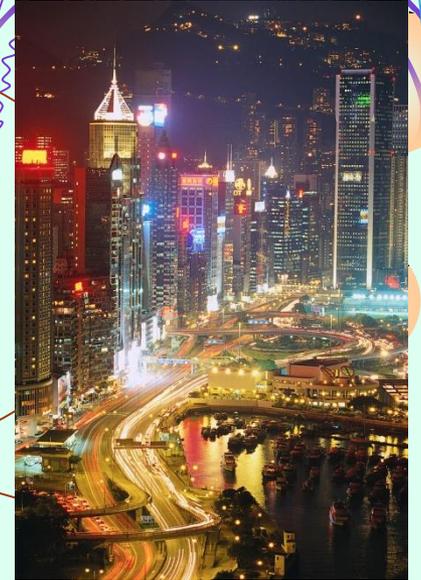
# 世界経済の変化

## ◆：インフラ、物価、生活の平準化

アジア各地で、日本をはるかにしのぐ施設（**空港、工業団地、港湾、道路等**）が数多く登場

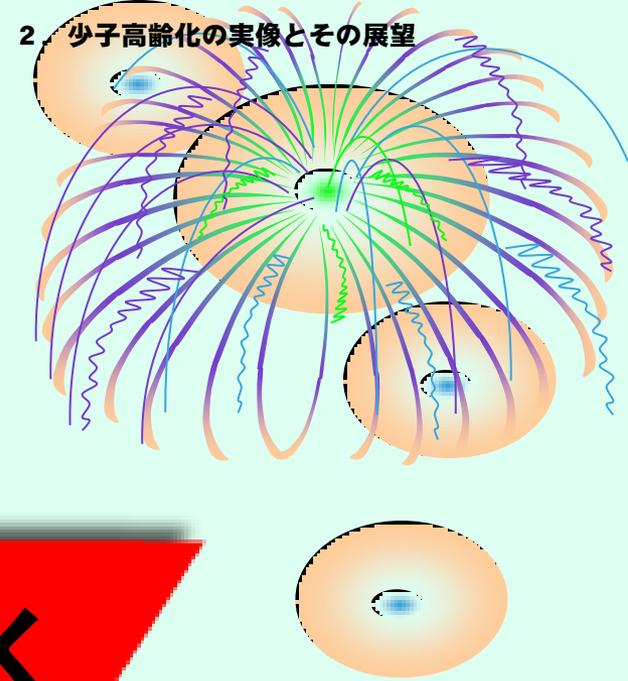


日本国内物価は、ここ9年間で連続下降（累計で -11.9%）

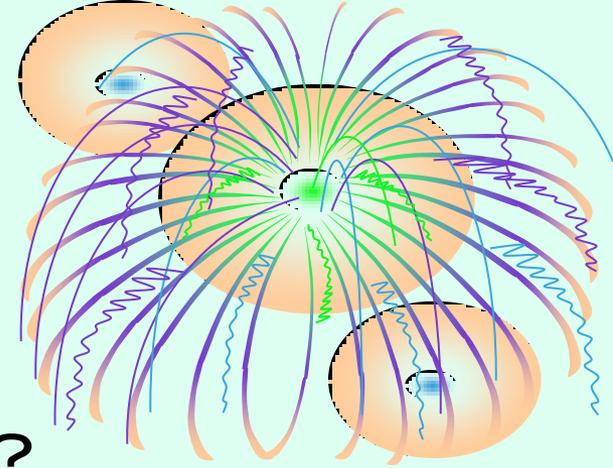


# 世界経済の変化と日本の展望（四）

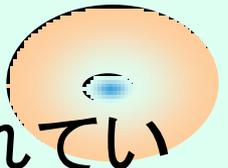
## ◆工業化社会の終焉



# 「マザーテレサの言葉」

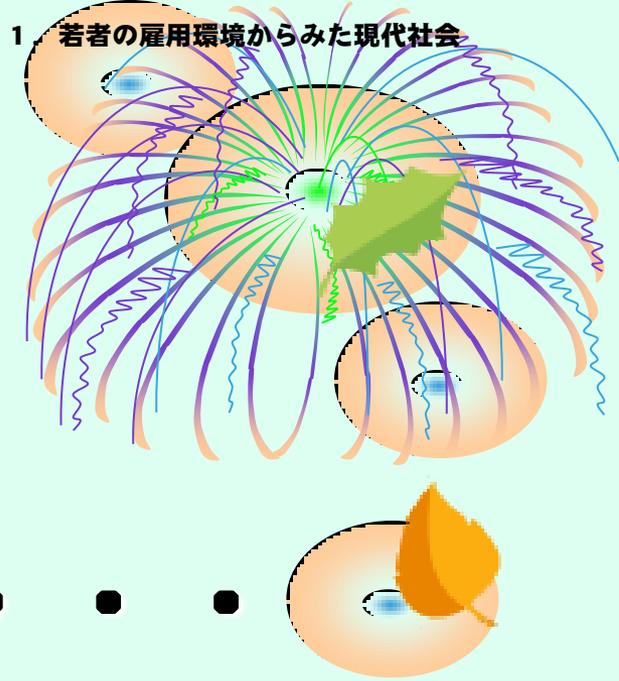


- 日本は「貧困」は確かになくなった？
- 現在の日本は「孤独」と「怠惰」に満ちあふれている
- そして今日本は「ワーキングプアー」という言葉が流行語としてはやっている
- 中高年の自殺者が毎年3万人を超えている



◆高度失業社会へ

# 社会の潮流から はぐれていく...



**低賃金・非正規**の仕事に就かざるを得ない  
特に**女性**は長い時間をかけて悲惨な状態に



女性の6割が働いているが  
半分が**非正規雇用**

# 厳しい雇用環境 (九)

1 若者の雇用環境からみた現代社会

## ◆ニュー・ワーキングプア

若い

非正規雇用者

バブルの味も  
一切知らない

どうせ結婚なんか  
できっこないと諦め

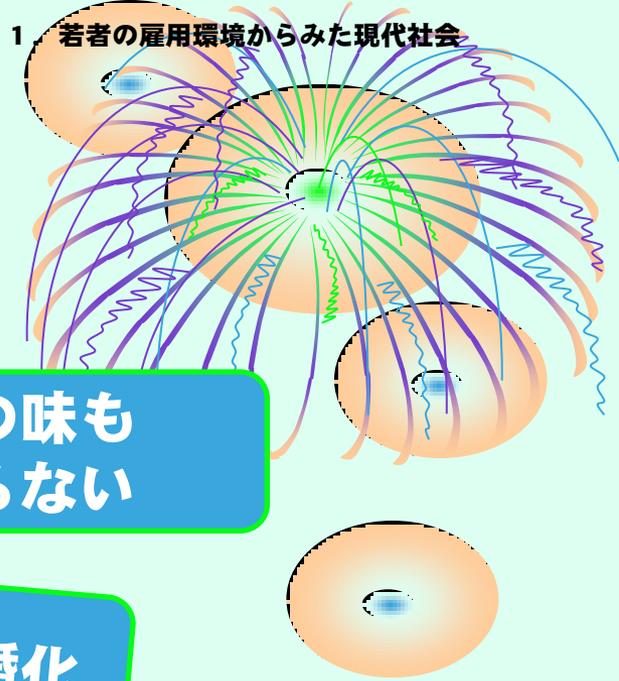
進む非婚化

今は親元で  
何とか暮らせるが

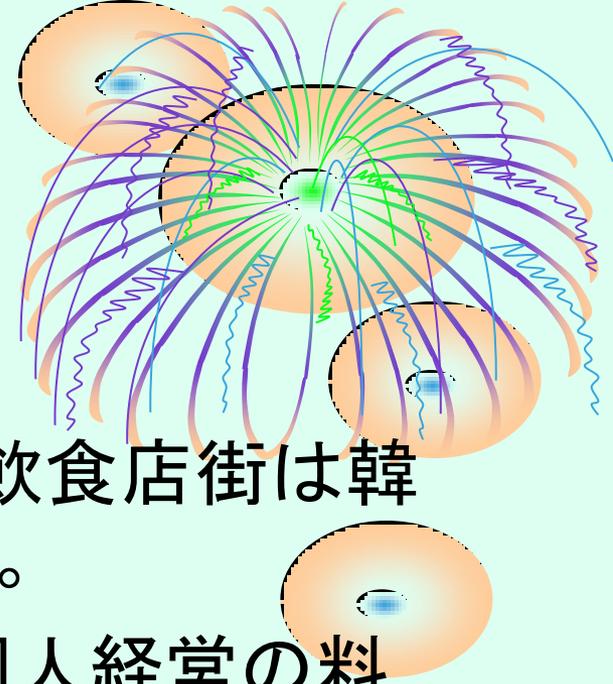
親が年老いた後のことを  
考えると...

一生、貧困から  
抜け出せそうにない

将来に希望を持ってない



# 海外の日本人街は

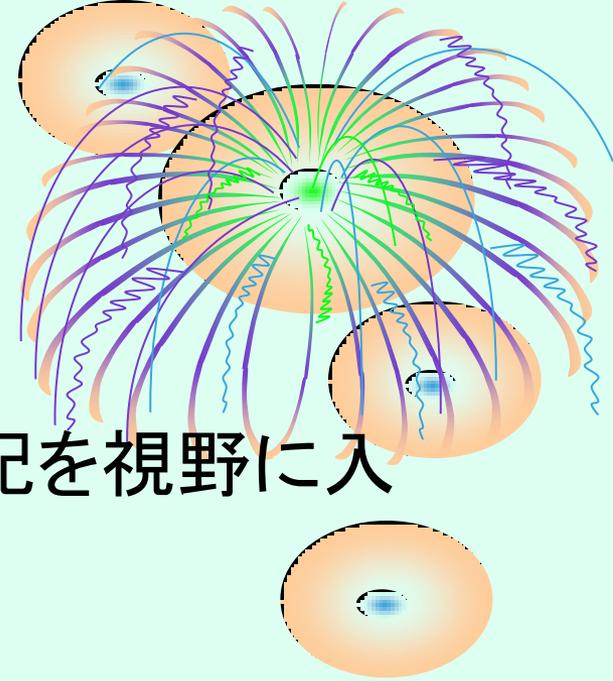


- 米国ロサンゼルスのリトル東京の飲食店街は韓国人経営者になっている店が多い。

日本人は店員で日系米国人は韓国人経営の料理店で日本料理を食している。

ブラジル／サンパウロの日系人街の料理店の経営者は韓国人や中国人になっており日系人は店員である。街の名前も東洋人街になっている。

# 失われた60年



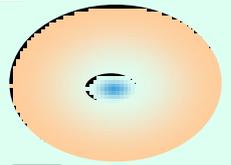
- 韓国や中国は1960年から21世紀を視野に入れた教育改革が行われてきた。
- 貧困から脱出する手段が教育であり新しい教育を受けた人が社会の中核について世界中で活躍している。

日本は「ゆとり教育」を受けた結果、人材劣化で将来は悲惨な民族になっていくことが想定

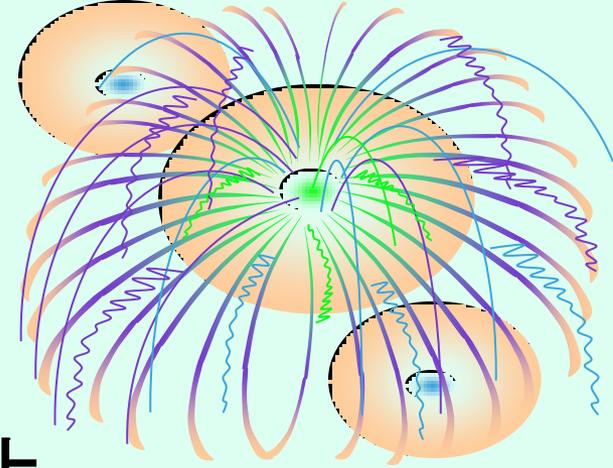
# 21世紀は「勉強しない人は生き残れない」 は世界の常識



- 「ケルン憲章—生涯学習の目的と希望」  
主要8カ国首脳会議；ケルンサミット
- すべての国、特に当該8カ国の経済成長
- 市民としての責任
- 社会的統合を達成するための生涯教育を  
果たす役割が強調

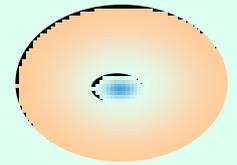


# 「世界の共通認識」



「知識社会」に入ってしまった以上、

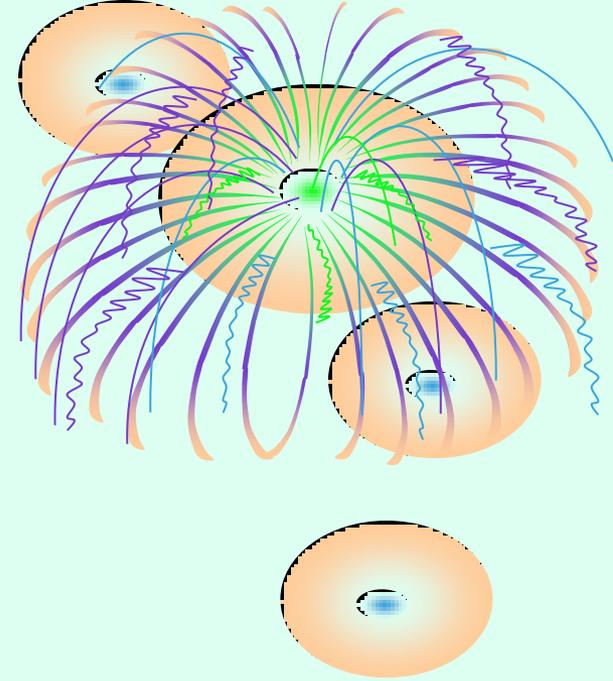
「生涯学習」を通じて高い知的レベルを獲得、  
維持したり出来ないと生きていけない



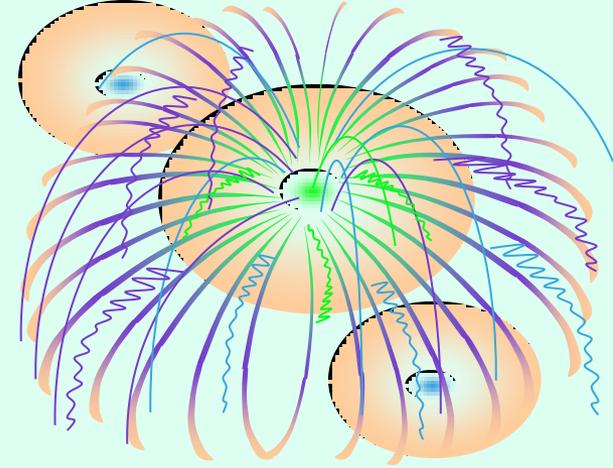
各国の教育相で合意し「世界の共通認識」

# 生涯学習の必要性

1. 知るための学習
2. (なにかを)するための学習
3. (なにかに)なるための学習
4. ともに生きるための学習



# 日本人の将来は



- 将来はかなりシリアス？
- 年金が破綻→75歳位まで支給延期か？
- 2020年位には海外出稼ぎ者が日本人の約半数か？
- 円高→円安、給料は現在の半分以下？
- 国際結婚が増える→第3国人との結婚が増える
- 公務員天国の崩壊か？

# ●年収300万時代

1%の大金持ち

60%の中流階級  
(年収3~400万)

40%のマニュアル  
ワーカー (それ以下)

少数 **金**・大多数 **ビ**?

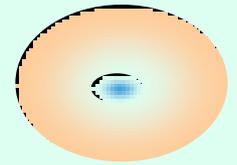
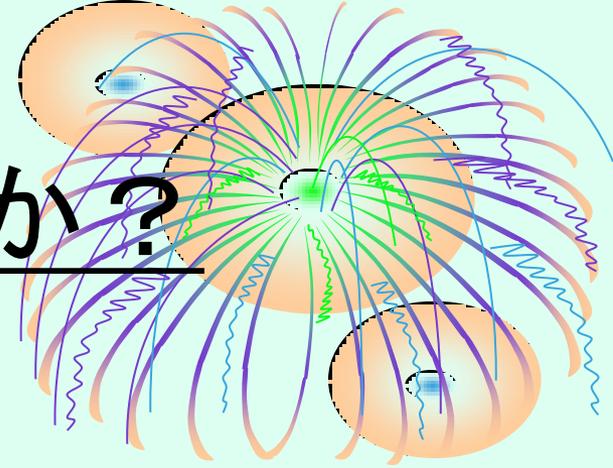
夫婦共稼ぎが普通?

給料は現在の半分?

豊かさの無い生活?

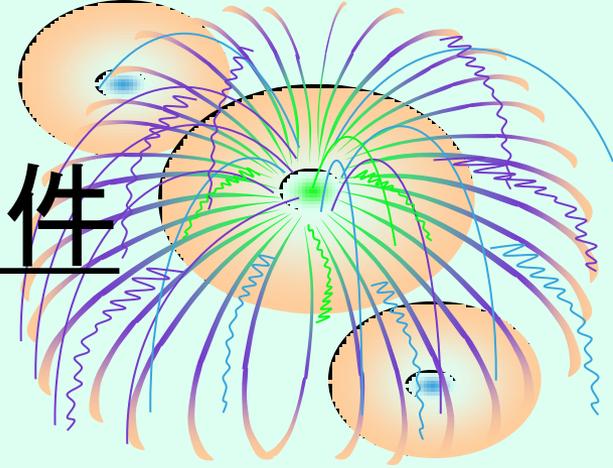
年収300万時代を生き抜く経済学；森永卓郎著

# いま何故、地方の創生か？



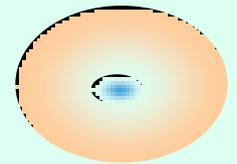
- 安部内閣の最優先課題
- 日本の人口は2008年の1億2800万人をピークに減って、このままでは48年に1億人を切る。
- 地方の若者がどんどん東京に移り住み、地方は老人ばかりになる

# 地方に創生に必要な要件



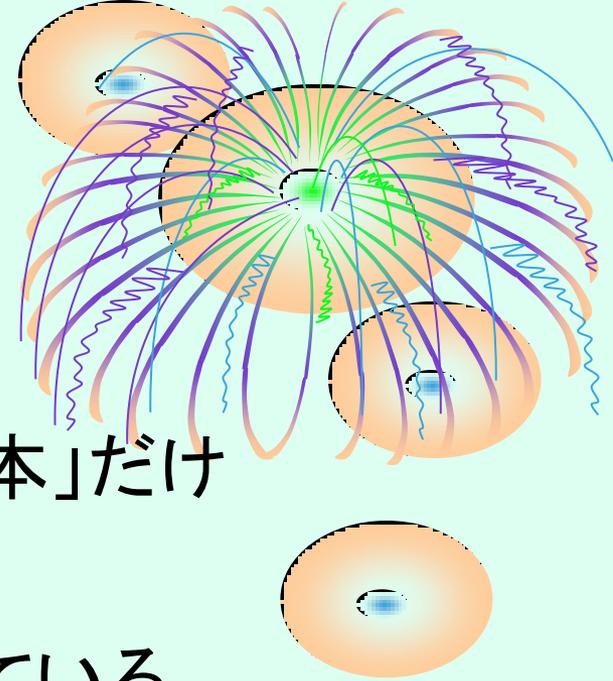
「経営の4要素」とは

- 1. 「人」
  - 2. 「金」
  - 3. 「物」
  - 4. 「情報」
- 
- 地方は何れも経営の4要素が貧弱



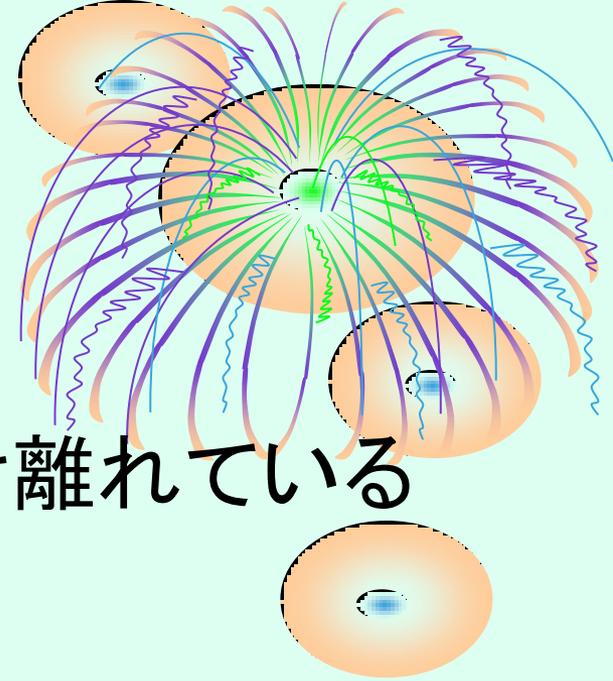
# 1. 人は？

- 競争を失った「ゆとり教育」・・・「日本」だけ  
地方の学校の先生は特別豊か？
- 学校教育に「心の教育」が失われている
- 知識教育中心の学習
- 「飽食時代」がこのまま続くと勘違いしている
- 「世界」や「日本」のことに無頓着
- 都会に興味を示さず「地方」に引きこもり
- 海外に興味を示さず・・・平安時代の意識

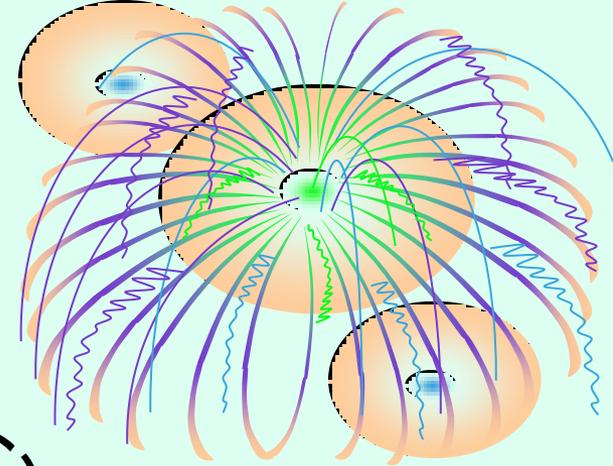


## 2. 物は？

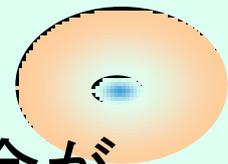
- 規制緩和が世界の常識とかけ離れている
- 地方ほど物価が高い
- 競争を失った経済社会システム
- 「地方経済は過疎地ほど疲弊」



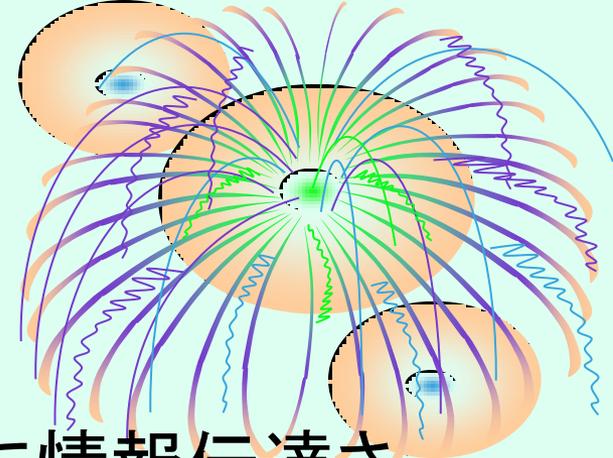
# 3. 金は？



- 日本政府は資金支援は大企業中心
- 雇用者の70%を占める中小・零細企業に金が渡らない
- 政府が真剣に考えているのか？
- 「明治維新よりその実態は深刻」“

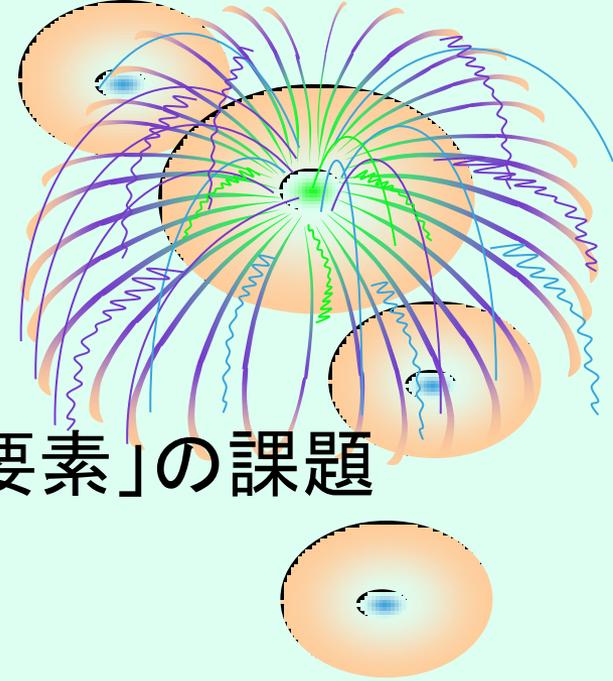


# 4. 情報は？



- 「日本経済」の実態は地方に正確に情報伝達されているか？
  - 「海外の状況」が正確に報道されているか？
  - 都会の「都合の良い情報」は伝わるが「都合の悪い情報」は地方には伝わらない。
- 
- 世界は「欧州の経済危機」、「日本の経済危機」が最も深刻・・・11月中旬のG20発表
  - 米国も最も心配事は「日本の国家経済破綻」  
日本国民は「心配しているのか？」

# 「地方の課題は」?



- 「地方経済」にはこの「経営」の「4要素」の課題が発生・・・「四重苦」
- 小学校・中学校の保護者の半数は「母子家庭」？・・・「青少年の育成」は大丈夫？
- 「地方分権改革」とは  
自治体の首長や職員や議員の為ではなく、住民のまちづくりを活性化させる事である。

# 「まち・ひと・しごと創生本部」

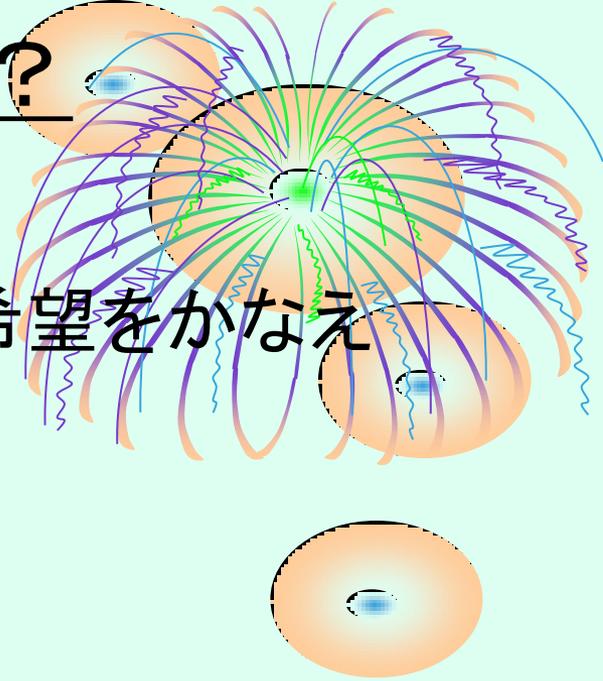
○地方への新しい人の流れを作る

- 地方移住希望者の支援
- 企業等の地方移転、地方採用を支援
- 地方大学の活性化

○地方に仕事を作り、安心して働けるようにする

- サービス産業、製造業、農林産業、観光業などの基盤強化

# 綺麗な作文を作っているだけ？



- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 結婚・妊娠・出産・子育てに支援
- 三世代同居の支援
- 育休を増やす
- 時代に合った地域を作り、安心な暮らしを守る
- 公共施設・公共サービス・公立病院の集約・活性化
- 地域と地域の連携
- 近隣市町村同士で一緒に仕事をするなど連携を深める

# 運命を変えるために

## ◆現実に対応するために

**現実**は、**すぐ**には**変えられない**が...

- 現実に対する認知のあり方  
(現実をどう見るか)
- 現実に向き合う態度
- 現実に対応する行動

変えることが  
できる

# 地方の中小企業が日本を救う



- 日本では約4570万人が雇用されているが、このうち成長戦略が後押しする従業員1千人超えの大企業（資本金10億円以上）の雇用は全体の2割
- グローバル化が更に進めばこの割合は更に下がる

# 日本経済の再生は



- 一方、資本金一億円未満の中小企業では雇用者の4割、個人事業者や資本金1千万円未満の小規模企業が3割を占める。
- 日本経済が活力を取り戻すためには、こうした企業の底上げが欠かせない。
- 雇用者の7割を占める中小・零細企業が元気にならなければ、
- 消費の底上げにつながらず、日本経済の再生も果たせない。

# 政府による資金支援



- そのためには使いやすい資金の提供が必要である。
- ところが政府が用意する資金支援を受けるには、膨大な審査書類を提出が必要。
- 日々の仕事に追われる企業には、政府が求める書類を作り上げるために費やせる人的資源が乏しい。
- 地元で長年、事業を継続している企業に対しては、簡易な審査で資金を受けられるような工夫が必要である。

◆ 2極化（海洋型 or 引きこもり型）の中で

小さな町工場や小売店でも  
他にない**特化要因**を所持し、  
**独自の役割**を見い出せば

**輝ける**

（なければ**大企業**でもダメ）

個人も  
組織も

皆と  
仲良く...

群れに  
紛れて...

**従来の生き方は困難！**

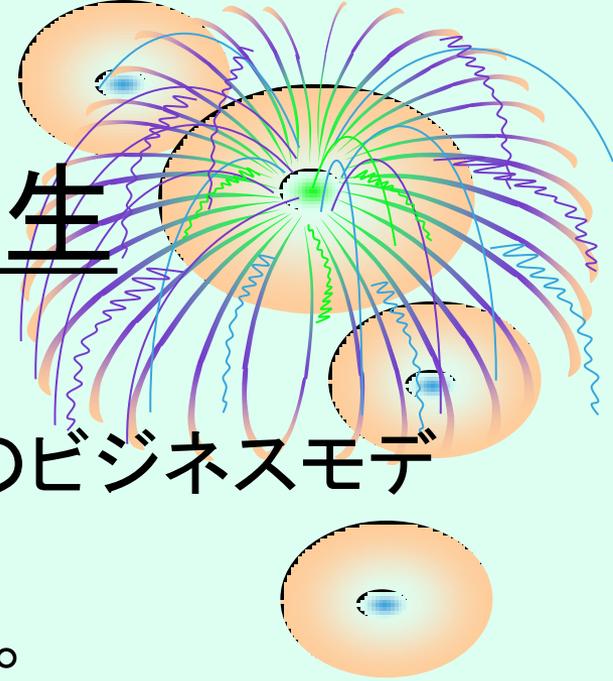
普通に...

# 中小企業を大企業が支援



- 日本の大企業はリスクを負わない。・・・リスクを追わなくても生きていける。又、リスクは立身出世の妨げ。
- 中小企業は必死で生活を掛ける。・・・新技術や新製品開発
- 中小企業が開発したものを世界や日本にダイバースさせる。
  - ・・・地方創生の新ビジネスモデル。

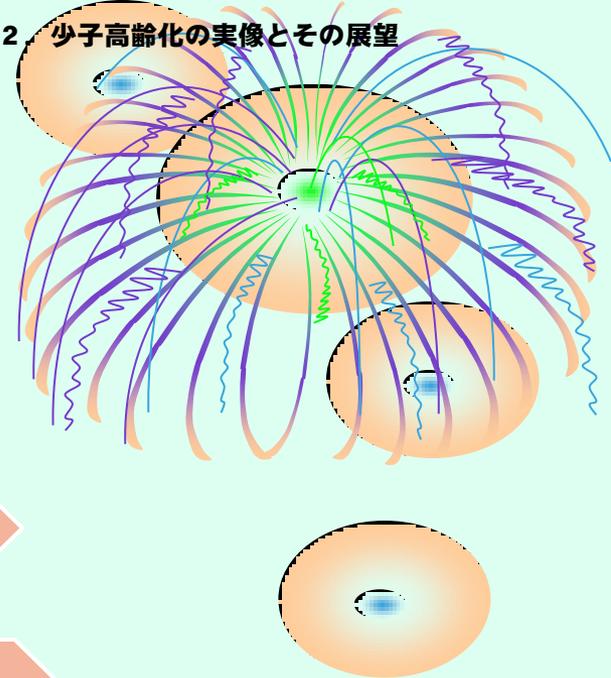
# 中小企業と大企業の共生



- 従来のような下請けではなく共生のビジネスモデルにする
- このための国家の資金援助を行う。
- 資金の総額の80%は中小企業に20%を大企業に支援する。……大企業中心の補助支援を中小企業中心に改める
- 大企業中心の資金・販売ネットワークを中小企業に開放する。
- 外国へのネットワークも開放する

# 運命を変えるために

2 少子高齢化の実像とその展望



**意識**が変われば**行動**が変わり

**行動**が変われば**習慣**が変わり

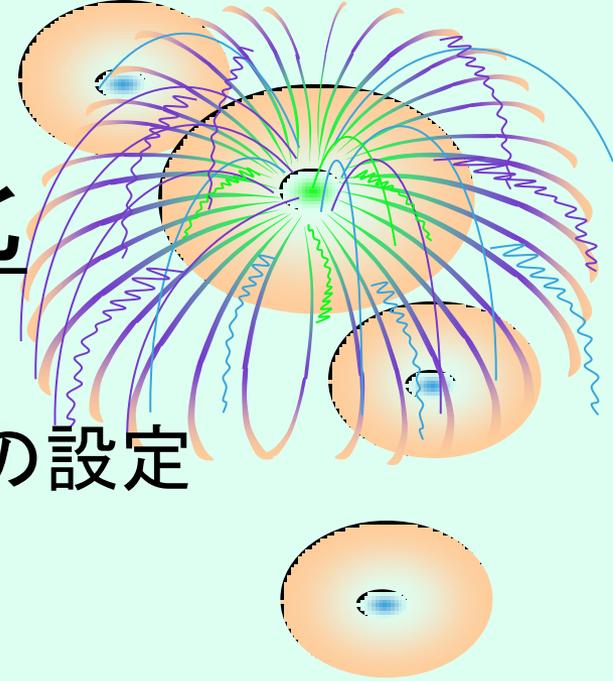
その積み重ねで**性格**が変わり

最後に**運命**が変わっていく！

**世界経済の動きは、日本の歩みを待ってくれるほど甘くない！**



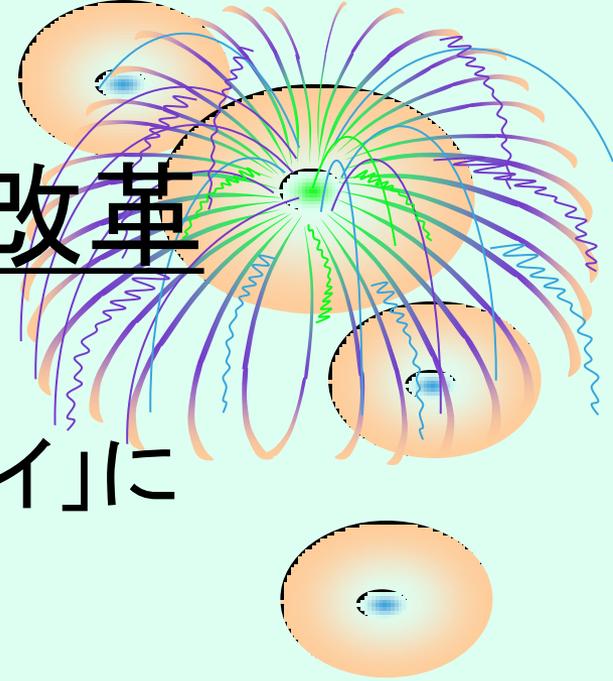
# 女性参画社会の具現化



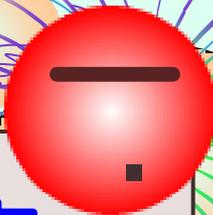
- 中学・高校・大学入学者数値目標の設定  
女性入学定員・・・50%数値目標
- 新入社員数値目標  
女子総合職・・・50%数値目標
- 女性出産時期手当・・・80%の手当支給
- 女性の職場復帰制度の確立・・・会社入社案内に明記
- 中途採用の明記・・・会社案内に明記

# 青少年の育成・・・教育改革

- 「ハウ/ツウ」から「ファット/ホワイ」に
  - 海外留学制度の確立
  - 教育者の再教育
  - 心の教育
  - 人生設計教育



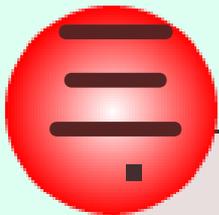
福沢諭吉 心訓七則



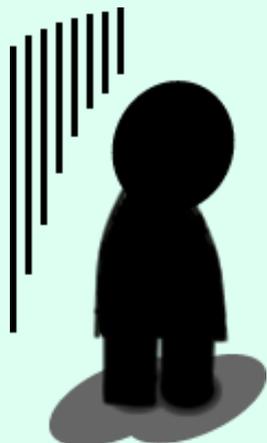
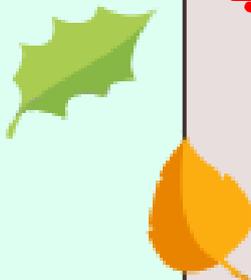
世中一番楽  
立派  
仕事  
一生涯貫

世の役に立つ

人に必要とされ



世中一番寂  
仕事



## 心に火をつける



The mediocre teacher tells.

凡庸な教師はただしゃべる。

The good teacher explains.

良い教師は説明する。

The superior teacher demonstrates.

優れた教師はやってみせる。

The great teacher inspires.

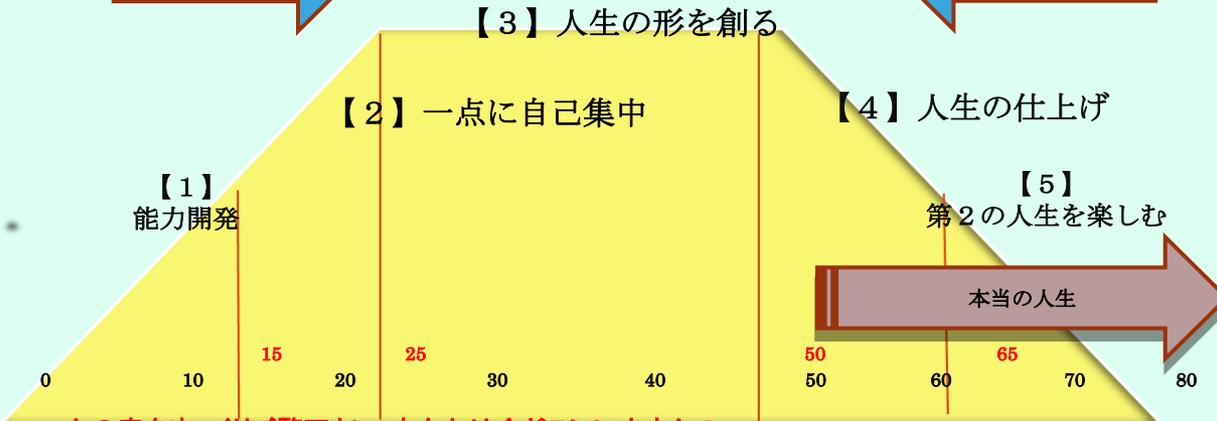
偉大な教師は心に火をつける。

Arthur William Ward アメリカの作家、教育学者

## シャーロット・ビューラーの人生法則

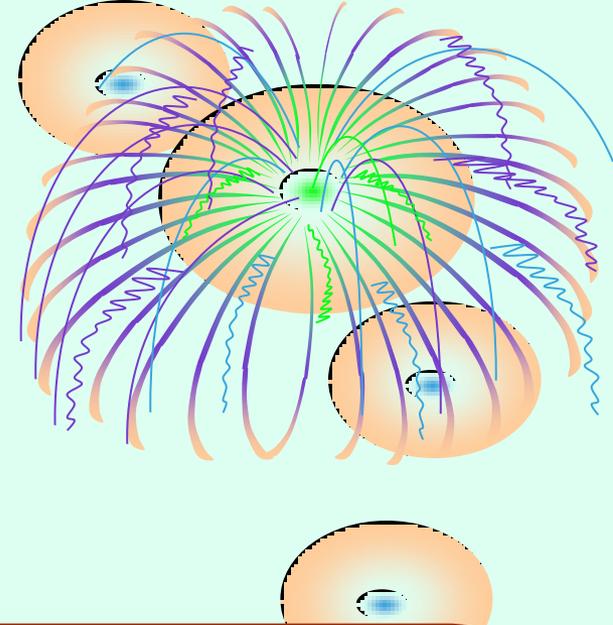
第一の曲がり角

第二の曲がり角



上の表をゆっくりご覧下さい。あなたは今どこにいますか？  
人の一生は表のように大きく5つのパートに分けることができます。

- 【1】急激な変化を遂げる、『成長の時期』。  
この時期にいかに多くのことを学び得るか、感性を磨けるか。人生の基礎作りの期間。
- 【2】アイデンティティ(Identity 自己同一性)を確立するための『探索の時期』。  
進むべき進路・目標を定めるために苦心する期間。  
この時期を無事乗り越えられないとアイデンティティ・クライシス(Identity crisis)を招き不安定で不幸な時期を迎える。
- 【3】人生後半期を豊かに、幸せに生きるための『確立の時期』。  
これまで学んできたことを組織に、社会に、家庭に生かすことにより、自分自身をも高め『本当の人生』を余裕で迎えるための期間。
- 【4】これまでの人生で築き上げてきたものの『維持の時期』。  
『本当の人生』の入り口にあたり、最後の自己研鑽の期間。
- 【5】第一線を退く『引退の時期』。  
さあ！！これからがあなたの『本当の人生』のスタートです。決して余生ではありません。  
これからの人生はあなたがこれまで培ってきた『愛情・経済・健康』の量に比例した『幸せな人生』を過ごせます。



### 『愛情・経済・健康』

この3条件を全て確保した状態で老後を迎えることができる人の一生を『幸せな人生』と呼びます。

以上の3条件が一つでも欠けたあなたの老後を想像していただき。そうすることで今あなたがすぐになさねばならないことが見えてくることでしょう。

# 近未来への課題

- 過度の首都機能見直し

- 出雲遷都

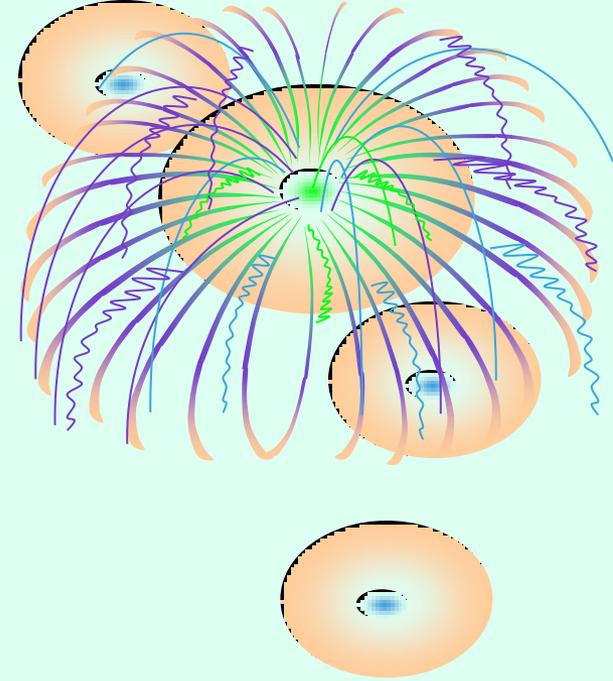
- 日向遷都

- 東海遷都 等

- 小さな政府の実現

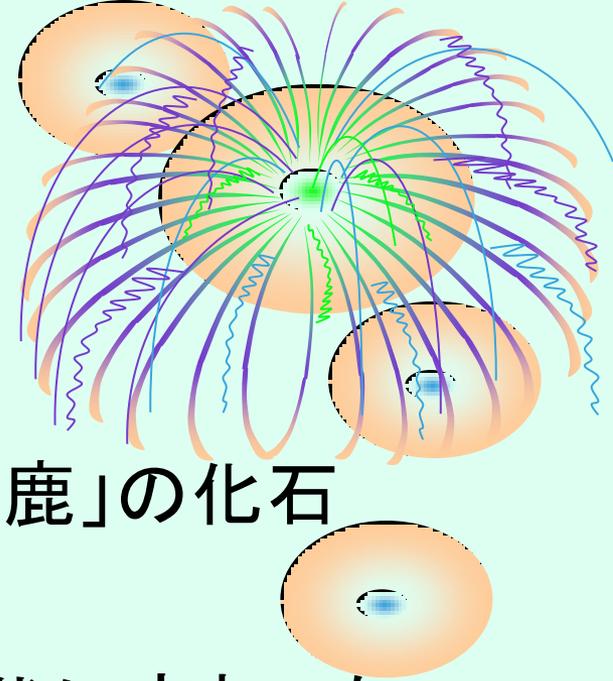
- 律令国家の見直し ● 道州制

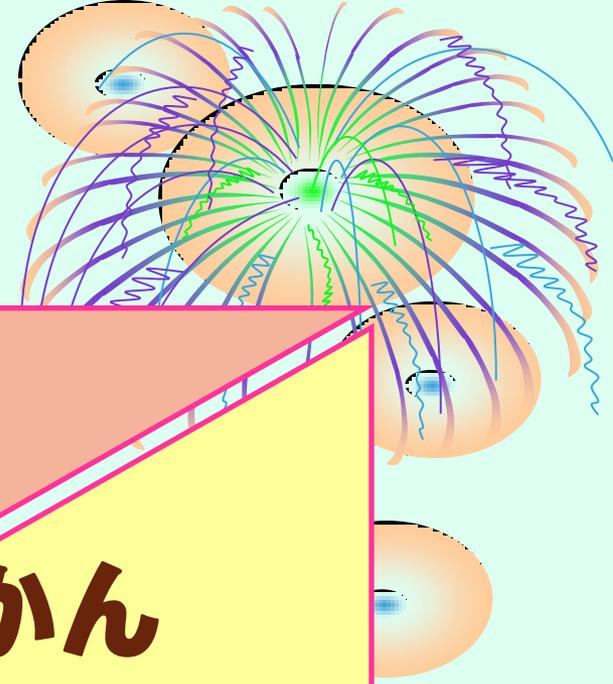
- 官僚体制は？



# 「マー・ルー」とは

- 漢字で「馬鹿」と書く古代中国語
- 中国周交店北京原人記念館に「馬鹿」の化石
- 「鋭い歯の化石」である
- 10万年前に森林時代から草原時代が変わった
- 「馬鹿」は環境変化に逆らい森林の食べ物しか食べない為、現在世界で10数匹しか生存していない絶滅品種である。
- 日本人はグローバルという時代変化に追従できない絶滅品種か？



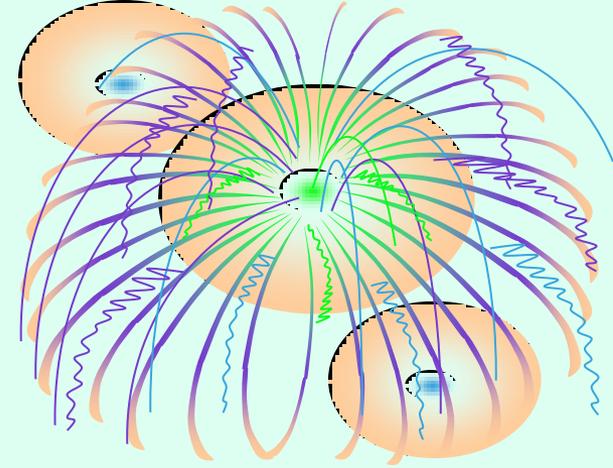


**【懂・聴・看】**

⇒ **とん・ちん・かん**

**【馬々・虎々】**

⇒ **まあまあ・ふうふう**



ご清聴ありがとうございました

